



病院NEWS

no. 381
2016
03/01



The Hospital News.Faculty of Medicine Kagawa University



香川大学 医学部附属病院 香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/病院長 横見瀬 裕保

香川医科大学、香川大学での16年を振り返って

循環器腎臓脳卒中内科学 教授 心臓血管センター センター長 河野 雅和

香川医科大学内科学第二講座を担当することとなり、平成12年4月1日に着任、平成28年3月31日をもって退官致します。「光陰矢の如し」の諺通り瞬く間に16年が過ぎました。この間に独法化と診療科再編に伴って香川大学医学部 循環器・腎臓・脳卒中内科学(Department of CardioRenal and CerebroVascular Medicine)となり、また平成26年よりは新病棟3階にCCU併設の心臓血管センターも開設致しました。

人事の面では、教授職5名(6名達成、日本体育大学保険医療学部救急医療学科、東北大学東北メディカルメガバンク機構地域医療支援部門統合遠隔腎臓学分野、川崎医科大学総合内科学3循環器、香川大学医学部総合内科学、香川大学医学部地域医療再生医学講座2名)、循環器内科部長5名、腎臓内科部長5名、病院長・副病院長5名とかかっていた数値目標を達成し、地域医療の発展に多少とも寄与できたと自負しております。

研究面ではインパクトファクター1000点(前大学のIFを含めて)を目標としていましたが現在1500点を若干超え、早い段階で達成し、それぞれの領域のトップジャーナルにも掲載されました。

教室主任としてこれまで勤め上げることができたのは、多くの医局員の協力、ならびに地域の先輩の御指導・御鞭撻によるところが大であります。

筆を擱くに当り、16年間にわたり皆様より賜りました御厚誼にこの場を借りて御礼申し上げます。



▲“ガンパロー”スタイルの記念写真
▲新病棟3階にCCUを備える心臓血管センター開設。ハード、ソフト面も新しく改善され医局員も満足気。

定年にあたって



放射線部 診療放射線技師長 加藤 耕二

昭和58年香川県立中央病院から本院に移り33年…。本年3月末日をもって定年を迎えます。開院当初は診療放射線技師僅か7名で、体力頼みの宵越総力戦を展開していたのも今では懐かしい思い出です。あれから、より専門性の高い機器も増え、それに伴い技師の人数も本年4月には当初の5倍近い32名の大所帯になります。それでも同規模大学病院に比べるとまだ技師数は少ない状態ですが、画像の質、スタッフの熱意では決して負けないレベルを維持してきたと自負しています。その歴史に初期メンバーとして携われた一人として、改めてその幸運に感動すら覚えます。また、平成21年より技師長として7年間「圧倒的存在感のある放射線部を構築する」という目標を掲げ邁進してきました。終わりのない目標故に、ここに一つの句点として有終の美を飾れたらと望む次第です。全ての皆様に大きな感謝と期待を残します。ありがとうございました。

退任にあたって



臨床栄養部 副部長 藤井 映子

昭和58年4月に着任し、滅多に経験できる事ではない大学病院の開院準備に携わる事ができました。香川大学医学部附属病院の歴史と共に、今日まで歩んでこられたことを光栄に思っています。赴任当初は、医事課に所属し食事療養管理、栄養指導中心の業務でしたが、平成5年に栄養管理室として業務独立、更に平成25年には、NST(Nutrition Support Team)を組織に含む臨床栄養部にと組織編成されました。業務内容も、医療における臨床栄養管理の必要性が浸透し、臨床栄養管理業務の占める割合が大きくなりました。

管理栄養士は、NST専門療法士・糖尿病療養指導士・病態栄養認定管理栄養士・がん病態栄養専門管理栄養士などの資格を有し、NST・糖尿病透析予防チーム・緩和チーム・褥瘡チームなどの一員として、栄養管理による治療効果の向上に努めています。管理栄養士が、今後益々、臨床現場で活躍されることを期待します。お力添え賜り有り難うございました。



看護をこころざし、前地より昭和58年開院時、香川医科大学医学部附属病院に採用されました。まだ患者さんのいない病棟での開院の用意、仕事終了と共に勉強会や色々な職種間の親睦会、大変貴重で有意義な楽しい時間を過ごさせていただきました。

32年間5病棟・3中央診療部門の中で仕事をし、多くの方と知り合え一生の友をたくさん得た事は私の一番の宝です。

たくさんの方に支えられ定年を無事迎えられたことは、本当に幸せなことと感謝いたしております。この場をお借りして「本当にありがとうございました。」

退職後は病院再開発を楽しみにしつつ、次のステップに踏み出したいと思っています。

最後になりましたが、医学部附属病院のますますのご発展と、皆さまのご健康、ご活躍を祈念いたしております。

専門研修プログラム作成における地域協議の開催について

新たな専門医制度の実施(平成29年4月より)に伴い、全国の大学病院をはじめとする病院では、現在、プログラムの作成を急いでいる状況です。「日本専門医機構」が発足し、それぞれの診療領域の研修プログラム整備基準が機構のホームページに掲載されています。

プログラム作成にあたっては「専門医の質の一層の向上」と同時に「地域医療に十分な配慮」をする事が非常に重要であり、そのため、それぞれの地域において地域協議の開催を求められております。

これを受けて、本院では平成28年1月13日に香川県医師会 久米川会長、香川県医務国保課 土草課長にお越しいただき、院内の診療科長を交えた地域協議を開催いたしました。県行政・医師会からの要望を拝聴し、より多くの県内の連携施設(協力病院)との連携とともに、医師の地域偏在が顕著な県内医療圏への配慮を盛り込んだ研修プログラムとする予定です。

今後も、医療の質の向上と安心・安全な医療の提供をモットーに良医育成に努めてまいります。何卒ご理解ご協力のほどお願い致します。

新専門医制度における 基幹施設(本院)と連携施設



急なこどものおなかの痛み～あまいな症状に気をつける～

こどもは物心ついたときからよくおなかの痛みを訴えます。その多くの場合は排便前後などの腸の動きに伴っての痛みであり、うんちをしてしばらくすると治ってしまいます。ところがいつものおなかの痛みと違っていつの間にか重篤な病気が発症していることがあります。このような重篤で外科的処置を必要とするようなおなかの痛みのことを急性腹症(きゅうせいふくしょう)と呼んでいます。おとなと比べてこどもの急性腹症は、生理的な腹痛や胃腸炎によるおなかの痛みとの違いがわかりにくいという特徴があります。おなかの痛みに加えて吐く、便に血が混じる。妙におとなしく、無気力、泣きやまない、などがあるときは要注意です。

代表的なこどもの急性腹症の一つに、「腸重積症」があります。この病気は生後6ヶ月から3才くらい、の年齢層に多い特徴があります。この病気は上の腸管が下の腸管に入ってしまった、とどんどん入り込んでいってしまう病気で、折り重なった部分は血流が悪くなってしまうため、通常血便や腹痛、嘔吐を伴います。しかし、年少児であるほど腹痛の症状に乏しく、泣き止まないとか、ぐったりするといったあまいな症状で発症することもあります。症状が軽く、対処が早ければおしりから空気を入れる高压浣腸による整復で対処することができます。

また、虫垂炎は盲腸炎と呼ばれることもある病気ですが、この病気は6～15才の小学生、中学生に多い病気です。進行すると腹膜炎を起こすこともあるため油断ができません。虫垂炎というと右下の痛みという、ことを想像されるかと思いますが、年少児では、おなかの痛みだけでなく、嘔吐、下痢、元気がないなどが症状のこともあるので注意が必要です。また、病気が進行してくると、発熱とぐったり感が出てきます。治療は手術で虫垂を切ることもありますが、病状が軽い場合は、薬剤の投与などの手術以外の対処法もありますので、こちらも早めの発見が大切です。

がん専門医ホットラインの開設しました

医療支援室

香川大学医学部附属病院は、大学病院の高度な医療の提供の一環として、地域の医療機関の諸先生方と密接な連携を目指すため、このたび地域の医療機関の方向けに「香川大学医学部附属病院がん専門医ホットライン」を開設しました。

- ・がん専門医に電話交換手を通さず直接つながります。
- ・肺がんなど31個の項目について対応
- ・14回線の専門医ホットラインを設置
- ・対応時間:平日9時～17時
- ・本ホットラインは医療従事者専用で、**一般の方は当院の「がん相談支援センター」(TEL:087-891-2473)**を活用していただくよう情報提供をお願いします。

医療機関に配布しているチラシ

電話番号は医療従事者向けの専門電話番号なので、非公開とさせていただきます。

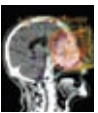


香川大学医学部附属病院がん専門医ホットライン

すべてのがんの専門医が迅速に相談にのります



IMRT (強度変調放射線治療)による画像



手術支援ロボット「ダヴィンチ」



平成28年1月手術棟オープン

香川大学医学部附属病院がん専門医ホットラインを開設しました。
がん専門医に電話交換手を通さず直接つながります。

ロボット手術、血管造影ハイブリット手術、MRIナビゲーション手術対応等、中四国最高レベル手術棟が完成し、がん患者さんへ最良・最高レベルの手術を安全に提供できる体制が整いました。また、高精度放射線治療システムで患者さんにやさしい最高の効果が得られるようにがん治療を行い、がんの悪性度などを明らかにするPET診断を導入しています。他の施設にない新しい核種（薬剤）を大学内で作成し、最新の診断を行っています。諸先生方と密接な連携を目指すためにホットラインを開設しました。



がん専門医ホットライン

医療従事者専用

平日 9時～17時

| | | | |
|------------|------|----------------|-----|
| 肺がん | 非公開 | 血液がん | 非公開 |
| 乳がん | | 小児がん | |
| 胃がん | | 脳腫瘍 | |
| 大腸がん | | 口腔がん | |
| 膵臓がん | | 乳房再建 | |
| 肝臓がん | | リンパ浮腫 | |
| 食道がん | | 高精度放射線治療(IMRT) | |
| 胆のうがん・胆管がん | | 原発不明がん | |
| 腎臓がん | | がん疼痛 | |
| 前立腺がん | | 治験・臨床試験 | |
| 膀胱がん | | 小腸がん | |
| 子宮がん | | GIST | |
| 卵巣がん | | 転移性腫瘍 | |
| 咽頭がん | | 抗がん剤治療 | |
| 頭頸部がん | 免疫療法 | | |
| | | 緩和医療 | |



ささえる、つながる、リードする。

香川大学医学部附属病院
KAGAWA UNIVERSITY HOSPITAL

〒761-0793

香川県木田郡三木町池戸1750-1

TEL:087-898-5111 (代表)

紹介予約受付

医療機関様からのFAXによる外来診察予約も
地域連携室経由で受付しています

TEL.087-891-2417 / FAX.087-891-2412

患者満足度調査アンケート

医療支援室

香川大学医学部附属病院では、地域の皆様に信頼され、安全で満足いただける医療の提供を目指しております。今後の病院運営の参考とし、患者さんに対するサービス等の充実のためにアンケート調査を、平成27年12月に実施いたしました。外来患者さん1391名、入院患者さん202名から回答をいただきました。「施設・整備」、「病院職員の言葉遣い・態度」、「診療」、「病棟病室」について、非常に満足(5点)、満足(4点)、ふつう(3点)、やや不満(2点)、不満(1点)を選んでいただき、質問全体の平均点は3.63点でした。

当院を選んでいただいた理由は、外来患者さん・入院患者さんとも「他の医療機関からの紹介」が一番多く、次いで「以前から通っている」、医療水準・医療スタッフ・設備施設の質の高さを理由にあげて下さり、約75%の患者さんが知人等に当院を紹介や推薦してもよいとお考えでした。100点満点での評価は外来患者さん82点、入院患者さん87点の評価を頂きました。

「感謝・お褒めの言葉」を頂き、職員一同大変うれしく思っています。また、同時に頂きました多くの「ご意見・ご要望」についても真摯に受け止め、改善に向けて取り組んでいきたいと思っております。

職員一同、さらに質の高い医療をお届けできるように努力して参ります。

「Q&Aでわかる香川大学医学部附属病院の最新治療」出版のご案内

総務課



この度、本院が行っている最新医療について地域の皆様へ広く知ってもらうため、「Q&Aでわかる香川大学医学部附属病院の最新治療」を出版しました。この本では、本院医師らが行っている最新医療について、はじめに先端医療11テーマ、続いて最新治療59テーマについてQ&A形式で、図や写真を用いて一般の皆様に分かりやすく解説しています。



「いつも近くにいる香川大学病院をめざして」
(病院長の発刊によせてから)

香川大学医学部附属病院 編著
A4判 160ページ
定価1,500円+税
発行:バリューメディカル
発売:南々社

臨床研究に関するご案内

医学部倫理委員会委員長
医薬品等臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織（内視鏡検査で検査のために採取した組織等）又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究（研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究）に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究（過去の事象について調査する研究）の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

●臨床研究に関するご案内URL <http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

イベントカレンダー H28.3~4月 予定表

| 月日 | 時間 | 場所 | 名称及び内容 | 担当 | 連絡先 |
|------|-------------|------------------------------------|--------------------------------------------------|---------------|---------------|
| 3/5 | 13:30~16:45 | かがわ国際会議場 | 肝臓病 市民公開講座 | 医療支援係 | (087)891-2452 |
| 3/19 | 15:00~17:00 | 香川県社会福祉総合センター | 市民公開講座～世界腎臓デー記念イベント～ | 香川県慢性腎臓病対策協議会 | (087)891-2150 |
| 4/3 | 11:00~12:00 | 丸亀町レッツホール高松市丸亀町1番地1 高松丸亀町番街東館4階 | イキイキさぬき健康塾-香川大学病院と最新医療- 「STOP CKD! 慢性腎臓病を知ろう」 | 総務課 | (087)891-2008 |



看護職員募集

中途採用者随時募集

助産師・看護師免許を有し、夜勤が可能な方

お問い合わせ先 087-891-2320(看護管理室)

編集委員会 (50音順)

荒井(検査)、一條(経営)、小野(総務)、加藤(放射線)、白神(麻酔)、中妻(看護)、濱本(外来)、芳地(薬剤)、松本(看護)、村上(病棟)、横井(情報)、横山(管理)、吉野(医事)

[委員長 横見瀬病院長]